

震災メモリアル集会



1月17日は阪神淡路大震災から30年でした。東神戸病院では「震災メモリアル集会」がありました。遠山院長から当時を振り返るお話があり、その後60名を超える参加者と座談会をしました。

リハビリテーション科からは唯一の震災経験者であるOTと今年新入職のPTが参加しました。

そのOTの感想です。

「あの時はみんな不眠不休で対応した。自分たちも被災者だったが家には帰れなかったし、職員の責任と感じた。医師や看護師は最前線で救命や治療にあたっていてセラピストはそれを支援する役割だったが、直接的な関わりでなかったことにもどかしさを感じていた。しかし今日の集会で、全国から応援に来てくれた支援者を支えることで、東神戸の緊急時医療が維持されていたんだと実感した。震災から1か月後にはセラピストは仮設や避難所に訪問をはじめたが、今は災害直後から行われていて、当時の経験が現在の災害医療に活かされていると思う。」